

# 広がる東方の世界

～ マスコミにも取り上げられつつある東方～

元々同人は、日陰でアングラ的な世界とされていた。1989年に起きた宮崎勤による連続殺人事件は、過剰なまでのオタクバッシングを招き、以後長らくオタク文化に対する強い偏見・規制論を巻き起こした。

近年に入り、インターネットやテレビドラマなどを通じてオタク文化の実態が少しずつ知られるようになると、社会におけるオタクへのイメージはかなり改善されてきた。また、同人サークル「TYPE-MOON」による「月姫」や「07th Expansion」による「ひぐらしのなく頃に」が商業化・アニメ化されるといった、同人発のヒット作品が生まれたこともあり、マスコミからの注目を浴びるようになった。

東方 Project もまた、最近になって少しずつではあるが新聞・テレビの報道の中で取り上げられるようになりつつある（資料.32）

特に意欲的に取り上げているのは風神録の『聖地』にあたる長野・諏訪地方で、地域との連携を充実させた同人誌即売会企画「御射宮司祭」で成功するなど、好感を持って受け入れられている。

こういった好意的な評価は「周囲に迷惑をかけず、潇洒に趣味を楽しむ」という同人のルールが認められているからこそであり、今後も良好な関係を保つためには、ひとりひとりに一層のマナー<sup>2</sup>とルールの遵守が求められているといえる。

また ZUN 氏も、2005 年の 4Gamer.net によるインタビューの際は顔出し NG であったが、2009 年に NHK-BS2 のオタクカルチャー番組「ザ☆ネットスター！」に出演して以降は、各所でメディアの場でも積極的に顔を出すようになった。

マスコミ以外の例では、夏コミが終ると D.N.A. Softwares が主催するネットラジオ「萎えラジ」にて反省（するフリをする）会という名の宴会の配信を行ったり、ゲーム系のトークイベントに招待されたりするなど、現在も多方面の活躍を見せている。

1 そのほか、東方が直接取り上げられたわけではないものの、北海道新聞などでサークル「IOSYS」へ取材記事が何度か組まれている。

2 ゴミを捨てないとか、大声で騒がないとか、社会人としてごく一般的な心得である。当たり前のことを当たり前にするだけでも、周囲の評価はまるで違ってくる。

## 主なマスコミによる特集の例

1998年	12月	ゲームラボ1999年1月号の同人ソフト特集にて「東方幻想郷」が紹介される
2002年	07月	DOS/V POWER REPORT9月号付録CD-ROMに東方紅魔郷体験版収録
2003年	03月	カラフルPUREGIRL 9月号にてZUN氏のインタビュー記事が掲載
2004年	07月	キャラ萌え隊に上海アリス幻楽団と黄昏フロンティアの対談掲載
2005年	10月	4Gamer.netにて東方花映塚レビュー記事掲載
	12月	4Gamer.netにて「東方」制作者インタビュー「シューティングの方法論」掲載
2007年	09月	4Gamer.netにて東方風神録のレビュー・特集記事掲載
	12月	キャラ☆メルVol.3にて東方風神録特集「ZUN徹底インタビュー」掲載
2008年	09月	NHK-BS2の『ザ☆ネットスター！』に東方Project特集およびZUN氏出演
	12月	ゲームラボ2008年12月号に「零から始める東方」掲載
	12月	キャラ☆メルVol.7に付録にて東方地霊殿のZUN氏インタビュー（前編）掲載
2009年	01月	長野日報にて東方Projectの紹介および聖地巡礼についての記事が掲載される
	03月	キャラ☆メルVol.7の付録にて東方地霊殿のZUN氏インタビュー（後編）掲載
	05月	文芸誌『ユリイカ～詩と批評～』の評論記事に東方が取り上げられる 社会評論・思想誌『思想地図 Vol.3 アーキテクチャ』に東方が取り上げられる
	08月	キャラ☆メルVol.11の付録にて東方星蓮船のZUN氏インタビュー掲載
	10月	岡谷市民新聞にて風神録オンリー『御射宮司祭』の取材記事が掲載される
2010年	05月	NHK-BS2の『MAG・ネット』にて東方Project特集およびZUN氏出演

資料.32 東方に関する主な特集事例

### 長野日報・地域面

#### 『ゲームの世界から諏訪へ聖地巡礼』

諏訪信仰に根差した神社群がいま、県内外のゲーム愛好者から静かな注目を集めている。諏訪地方の神話を基にしたキャラクターが、自費製作ゲームの人気シリーズに登場したためだ。アニメやゲームゆかりの地を訪ねる「聖地巡礼」の参拝者も増えており、新たな誘客の要素として期待する地元の声も出てきた。

2009年1月1日付

### 岡谷市民新聞

#### 『パソコンゲーム「東方風神録」"聖地"でファンイベント』

パソコン用ゲーム「東方風神録」のファンが集う「東方風神録オンリーイベント御射宮司祭」が二十五日、ラオカヤ二階で開かれた。ゲームを題材にした漫画やグッズなどの展示即売が行われ、県内外から約千三百人が来場、地方では珍しい同人誌即売会に、会場は多くの人でにぎわった。

2009年10月27日付